

2018年3月7日
日本空港ビルディング株式会社
東京国際空港ターミナル株式会社

羽田空港は、OAG 社の実施する定時運航順守率ランキング
「OAG Punctuality League 2018」において
3年連続 世界第1位に
(メガ空港部門) 世界第1位



2018年3月6日 授賞式の様子

左 : OAG アビエーション ワールドワイドリミテッド
Caroline Mather 様 英国本社マーケティングディレクター
中央左 : 東京国際空港ターミナル(株) 大山 健介 常務取締役
中央右 : 日本空港ビルディング(株) 宮内 豊久 取締役副社長 執行役員
右 : OAG アビエーション ワールドワイドリミテッド
Mayur Patel 様 シンガポール支社/JAPAC セールスディレクター

英国のOAG社(※1)が実施する定時運航順守率ランキング調査「OAG Punctuality League 2018」(※2)の「メガ空港部門」(※3)において、羽田空港(※4)の国内線・国際線が3年連続で世界第一位となりました。

一昨年、昨年に続き、このような受賞を頂けたのも、各航空会社、国土交通省航空局東京空港事務所をはじめとする全ての空港関係者のチームワークによって羽田空港の定時性に力を注いできた結果であると、大変光栄に受け止めております。

今回の結果を励みに、今後もオール羽田で連携し、国内線・国際線旅客ターミナルともに、利便性・快適性・機能性に優れた施設とサービスを提供してまいります。

(参考) OAG Punctuality League 2018 より抜粋
(2017年 メガ空港部門(※3) 定時運航順守率 世界第1位)

順位	空港名	コード	定時順守率
1	東京国際空港	HND	86.75%
2	マドリード=バラハス空港	MAD	83.63%
3	アトランタ国際空港	ATL	82.38%
4	デンバー国際空港	DEN	82.24%
5	ダラス・フォートワース国際空港	DFW	81.36%



※1) OAG (オフィシャル・エアライン・ガイド) アビエーション ワールドワイドリミテッド社
(ニグローバル航空データソリューションプロバイダー)
英国に拠点を置く航空機運航情報会社。世界の航空関連データに関する収集および提供を行っている。

OAG社 ホームページ: <http://oagaviation.jp/>

※2) OAG Punctuality League 2018 Based on full year data 2017
2017年(暦年)の全世界の提供座席が250万座席以上の空港を対象とし、その運航データから、定刻より15分以内の遅れを“定時運航”と定義した上で定時運航順守率を集計し、空港規模や航空会社別などカテゴリー別の定時運航順守率ランキングをまとめた報告書。
「OAG Punctuality League 2018」: <http://www.oag.com/punctuality-league-2018>

※3) メガ空港部門 (mega category)
出発便の年間提供座席数が、3,000万座席以上の空港

※4) 羽田空港
羽田空港は、国内線第1、第2旅客ターミナルは日本空港ビルデング株式会社が、国際線旅客ターミナルは、東京国際空港ターミナル株式会社がそれぞれ所有、管理・運営をしています。

【本件に関するお問い合わせ】

日本空港ビルデング(株) 広報部 [TEL:03-5757-8030](tel:03-5757-8030)
東京国際空港ターミナル(株) 企画部 [TEL:03-6428-5901](tel:03-6428-5901)
(9:00~17:30) ※土日祝日除く。